

戦略的創造研究推進事業「まえぶれ」

研究領域「人間社会の継続的发展を支える自律的知能システムの構築」

平成13年度 研究領域別課題一覧

研究分野	H：情報・システム
研究総括	真壁 修司 JSP「まえぶれ」研究推進委員会 研究総括
研究期間	平成13年度～平成17年度(2001年度～2005年度)

1. 研究領域の概要

本研究領域では、人工現実感、知能ロボット、認知科学およびヒューマンインタフェースに関する研究を横断し、人間と継続的な関係を形成する自律知能の構成原理を明らかにする。身体、記憶、対話および行動にかかわる諸機能を統合し、従来は人間に固有と考えられてきた認識と判断の過程を工学的に構成する。さらに、仮想環境および実環境において長期間活動し、利用者の不在時にもその経験と意図を保持し得る知能システムの基盤確立を目指す。

1. 仮想環境における感覚提示および身体モデルに関する研究
2. 個人の経験と関係性に基づく記憶・対話機構に関する研究
3. 人間の意図を保持し継続的に活動する自律エージェントに関する研究

2. 採択研究課題

課題番号	研究班	研究課題名	研究代表者	所属機関
M01-05	A03	人工現実感環境における行動計測と身体モデルの生成	野村 聡	筑波大学
M01-02	A01	共有仮想空間における身体的コミュニケーション機構の研究	岸本 隆	京都大学
M01-03	A02	人間の判断過程を模倣する適応型意思決定支援システム	黒瀬 恭子	大阪大学
M01-04	A02	対話履歴からの個人モデル獲得と自律エージェントへの応用	森川 和彦	名古屋大学
M01-01	A01	身体・記憶情報の統合による個人性を備えた仮想対話システムの開発	酒井 透	東京大学
M01-06	B01	テレイグジスタンスのための自律行動補助機構	三浦 直子	慶應義塾大学
M01-08	B01	作業履歴からの手続き知識獲得による技能伝達支援	長谷部美枝	早稲田大学
M01-09	B02	人間と複数の自律エージェントによる協調作業環境	木津 俊昭	電気通信大学

3. 研究実施計画

区 分	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
基礎研究	要素技術	モデル構築	統合研究		
統合・評価		予備実験	中間評価	実環境実験	長期実証・総合評価

- 所属機関および職名は平成13年4月1日現在。
- 研究課題の内容は採択時の研究計画に基づく。